

花祭に安心してお出かけいただくために

花祭に行ってみたいけれど、山道や寒さ・夜通しなのが心配... という方のために参考にしていただきたい情報を集めてみました。（作成：花祭を支える力になりたい有志の衆）

出かける前に クルマ編

○11月12月は、スタッドレスタイヤでなくても走行可能です。12月に入ると、まれに雨上がりの深夜・早朝は路面が凍結しますので、スピードを控え急ハンドル・急ブレーキを避けてください。

○1月～3月上旬は、スタッドレスを装着していれば問題なく域内（北設楽郡内 花祭会場周辺までに限る）を走行できます。冬季は国道から離れれば離れるほど、積雪・凍結などで走行が危険になります。

○道幅が狭く、起伏・カーブの多い道もありますので、運転に自信のない方は県道などではなく必ず国道をご利用ください。対向車のためにも、キープレフトで事故防止を心がけましょう。

○カーナビで「最短距離」検索をした場合、すれ違い困難な道が表示される場合もあります。特に豊田市足助・稲武町～設楽町田口・田峯・津具を経由するルートの場合ご注意ください。大型車もひんぱんに通行します。

○駐車場には限りがあります。路上駐車などは案内に従い、歩行者・ご自身の歩行時の事故にはご注意ください。また、民家の出入り口などをふさがないようにご配慮ください。

○夜間はタヌキ・ウサギ・ニホンジカ・ニホンカモシカが飛び出し思わぬ方向に走ります。ヘッドライトのハイビームを適切に使い、スピードを緩めて衝突にご用心ください。走行不能になる危険性もあります。JAF等の救援も遠方からになるので待ち時間に1～2時間以上かかります。

出かける前に 公共交通機関編

○飯田線東栄駅を下車すると町営バス・タクシーが利用できます。（検索：東栄タクシー）

○町営バスの本数が少なく駅からの移動手段も限られます。事前によく下調べをしてお出かけください。特に花祭開催の土日祝は運行本数が減るのでご注意ください。（検索：お出かけ北設バス）

○バス停から花祭会場まで街灯のない暗い道を歩くことがあります。懐中電灯があると安心です。

○2023年度は巡回バスのサービスはありませんかので、ご注意ください。

大変寒いです！防寒のご用意を！服装・装備編

○11月以降は晴天時の夜の冷え込みが厳しくなり、12月以降は降雪も考えられます。調整しやすい防寒小物（帽子や手袋、使い捨てカイロ等）があるとしのぎやすくなります。

○各会場に仮眠所などがあり毛布程度の用意がされています。（朝から開催の一部会場を除く）

○埃っぽかったり、湯水にぬれたり火の粉をかぶったりすることがあります。履き物を含め、汚れたり傷んだりしてもよい服装や、着替えの準備をおすすめします。化学繊維は火の粉に要注意です。

コンビニは域内に一軒だけです（営業時間 6:00-23:00）

○近隣に店舗はほとんどありませんので、軽食や飲み物・SDカードなどのメディアやバッテリーの予備はお出かけ前にご用意ください。東栄町内のコンビニの営業時間は6時～23時です。一般店舗・ガソリンスタンドの営業時間にもご注意ください。

○携帯電話の電波状態が悪く使用不能の地域もあります。ワンセグ・5Gは全域で利用不能です。

○地区有志による簡易の売店で温かい食べ物や飲み物を販売している会場もありますが、時節柄売店がない場合や縮小営業で売り切れる場合もありますのでご注意ください・ご容赦ください。

○キャッシュレス決済の利用ができない場合が多いので、小銭や少額紙幣をご用意するなどご協力をお願いいたします。

○保存会による接待も多くが縮小・休止を予定しています。各自で軽食等のご用意をお勧めいたします。

祭りを見ていただく時に

○東栄町監修カラー版「花祭」リーフレットを用意しています。ご利用ください。

○長く続けられてきた祭ですので、ゆるくなってきているとはいえ様々な約束事が守られてきました。どうぞ見学される皆さんも、携わる人々の指示に従って長く祭を続けていく仲間としてご協力をお願いいたします。

○静かで神聖な場面の一方で、福をもたらす子孫繁栄・村内安全を祈る「笑い」の一面も祭のうちで、ジョーク・下ネタも連発されますがお許しを。会場により酒のふるまいもありますので、「ほどほど」を心がけて楽しいひと時をお過ごしください。自動車を運転される方は、飲酒はお控えください。

○お困りごと・疑問点などには、可能な限り対応できるよう心掛けてまいります。会場にある「受付」「会所」表示の場所や祭典係員（はっぴや腕章を着用）にお声掛けください。フェスティバル会場内でもご相談にお応えしています。（検索：東栄町まちづくり観光協会）

○花祭の古い姿を探してみるなら、「古戸白山祭」もおすすめです。（12月第二土曜日午後～1・2時間程度）細い山道の登山（自動車不可・30分～1時間）になるのでご注意ください。

○映像を撮影される皆さんへ 狭く暗い会場内では至近距離のストロボ撮影は、子どもだけでなくあらゆる人に影響があります。特に面をかぶると視界が限定され動作（大きなマサカリを振るなど）や足元が危険となりますので、カメラを調整してストロボの使用は極力控えるようにしましょう。また場所は立ち止まり続けず譲り合い、誰もが祭を気持ちよく楽しめるようにご協力をお願いいたします。

○花祭では興にこらじて祭の輪に入ることは、舞子の邪魔にならない限り許されています。太鼓のリズムに心がのってきたら、ぜひ声を出し、周りの人に合わせて体を揺らしたり手足を動かしたりしてみてください。手拍子ではなく声掛け「てほへ」などが花祭での舞い手（舞い子）応援の基本です。ぜひ覚えて声を出してみてください。笛の音（メロディー）

○高齢者が多く医療施設の乏しい地域柄、感染予防対策には特にご理解・ご協力をお願いいたします。救急医療施設も遠方となりますので、併せてご承知いただきご自身のケガや急病にもご注意ください。

○行先に迷う時は観光協会に気軽にお問合せ下さい。東栄フェスティバルでもご相談に対応しています。

○主な参考文献（新刊書でも古書でも入手できます）

『花祭』早川孝太郎 抜粋版：講談社学術文庫 / 角川ソフィア文庫（全集版巻1を収録）

全集版：未来社「早川孝太郎全集」巻1～2

